

伝統ある農地で多くの人に
愛される農家を目指す！

まだまだ駆け出しだすが、早く一人前の扱い手となれるよう頑張りますので、皆さんよろしくお願ひします。

Contents

- 4 特集 ご存じですか？ JA東びわこの福祉事業
- 6 今日からはじめる 家庭菜園
- 8 ピックアップ！ 地域のEすとニュース
- 10 あつまれ 地域のEひと
- 13 ゴールデンウィーク期間中 営業時間のご案内
- 14 おいしくうれしく 魔法のレシピ



彦根市田附町
(有)びわこ農産
西田 昌起さん(26)
主要作物の作付面積

作物名	作付面積
水稻	37ha
麦	14ha
大豆	28ha
そば	5ha

(令和2年度)

大学卒業後に県外の農業生産法人で2年間働いた後、父が代表を務める当社で平成31年4月から働き始めました。“おいしくて安全なものをできるだけ安く消費者に届けたい”という基本理念のもと役員2名・従業員4名で構成する当社では、20代の従業員が半数を占め、エネルギーッシュでパワーあふれる経営体として多くのニーズに応えられるよう新しい品種の栽培にも意欲を持っています。私も当社も「まだまだこれから!」という気持ちで農業に取り組み、地域の信頼される組織を目指しています。

引き継いでいく
レベルの高い農業を
改めてお米について考えてほしい

他県で働いた後に稲枝地域へ帰ってきて驚いたのは、“お米を育て収穫する”という目的は同じでも、栽培法が全然違ったことです。その土地柄に最適な手法を理解・実践していくことが大切だと考え、また一から勉強の毎日を過ごしています。とりわけ稲枝地域の農業はとてもレベルが高いと実感しています。農地の集積が進み、効率良く作業を行おうとする姿勢が多くあります。とりわけ稲枝地域の農業は農家さんから感じられます。若手も多く、ファーマーズクラブなどを通じ各経営体の垣根を越えて若手農家同士が横の繋がりを持てるのは、他県では見ることのできなかつた光景です。このような先駆者が築いてこられた優良な農地や人と繋がりを引き継ぎ、さらに発展していけるよう頑張ります。

JA Higashi Biwako Communication Magazine EひとEすと 3



▲(有)びわこ農産が管理する圃場でくすく育つ小麦と一緒に



やっぱり地元のお米は最高です！

今月の表紙

4月号の表紙は、アスパラガスです。JA東びわこ管内では、稲枝アスパラ生産組合の皆さんのが「ひこね夢アスパラ」として直売所へ出荷し、高い人気を得ています。

アスパラガスの原産地は、南ヨーロッパからロシア南部にかけての半砂漠的草原地帯とされています。次々と生えてくる若芽を収穫することから、「よく分かれる」「激しく裂ける」などの意味を持つギリシャ語の「アスパラゴス」を語源としているそうです。日本へは江戸時代に鑑賞用として輸入され、食用としては、明治時代に北海道開拓使によって試験的に栽培されたのが始まりといわれています。



今月の表紙

4月号の表紙は、アスパラガスです。JA東びわこ管内では、稲枝アスパラ生産組合の皆さんのが「ひこね夢アスパラ」として直売所へ出荷し、高い人気を得ています。

アスパラガスの原産地は、南ヨーロッパからロシア南部にかけての半砂漠的草原地帯とされています。次々と生えてくる若芽を収穫することから、「よく分かれる」「激しく裂ける」などの意味を持つギリシャ語の「アスパラゴス」を語源としているそうです。日本へは江戸時代に鑑賞用として輸入され、食用としては、明治時代に北海道開拓使によって試験的に栽培されたのが始まりといわれています。